

観 点 別 の 正 答 率

評価の観点	東京都	江戸川区	平井東小学校
問題を発見する力	81.5%	81.3%	97.7% ↑↑
見通す力	59.6%	58.5%	69.8% ↑↑
適用・応用する力	54.5%	52.2%	54.1% ↓↑
意思決定する力	50.6%	47.5%	53.5% ↑↑
表現する力	72.1%	70.7%	67.4% ↓↓
総合	60.2%	58.3%	63.1% ↑↑

観 点 別 の 正 答 率 か ら み た 課 題

- ・観点別の平均点は、ほとんどの観点で都や区の平均を上回っており、概ね良好である。中でも、「問題を発見する力」や「見通す力」は都や区の平均を10%以上上回っており高い水準であると言える。
- ・「問題を発見する力」については、1問出題で98%の正答率で、大幅に都区の平均を上回った。過去と現在の写真を見比べて、課題を見つけ出す問題である。2枚の写真から、違いを発見し分析し考察しながら、課題を明確にする力が求められている。
- ・「見通す力」については、1題出題で70%の正答率であった。バスの料金システムを理解し、1日乗車券との比較をする問題である。料金体系をしっかりと見極め、判断する力が求められている。
- ・「適用・応用する力」については、区の平均は上回ったものの、都の平均はやや下回る結果となった。懐中電灯の状況を把握し、点灯しない原因を探る問題、調べ学習の中でインタビューの内容を話し合う問題、ハイキングマップを見てコースを考える問題、1日で使う水の量を浴槽で何杯分になるのか換算する問題である。いずれの問題でも、自分が持っている情報を整理し、そこから考えを広められるよう力が求められている。
- ・「意思決定する力」については、複数の条件を理解し、その条件に合うような行動を決定する問題が出題され、正答率は54%であった。都区の平均は上回ったものの、観点別の中でもっとも低い正答率であった。複数条件を正確に分析・把握し、適切な解答を導き出す力が足りないと感じた。
- ・「表現する力」については、1問出題で67%の正答率であった。迷子になった子供の状況をデパートの店員に伝えるために、どんな順序で説明したらよいか考える問題である。相手にわかりやすく説明するために内容を整理しながら順を追って話す力を身につける必要があると感じた。

指 導 法 改 善 の ポ イ ン ト

(表現する力の指導)

- 自分の考えを分かりやすく図や表にまとめて説明したり、学級やグループの話し合いの中で、相手の立場に立って意見を述べるような場面をより多く設定したりする必要があると考える。
- スピーチや発表をする時に内容を整理してまとめておいたり、箇条書き等にして順序立てて話をしたりできるように指導することが大切である。

(適用・応用する力の指導)

- 日常の事象から、目的に応じて表やグラフに表したり読み取ったりする指導の工夫を図る。
- 日常生活の中で起こる現象等と各教科の学習内容を、関連付けて考える力を育てていく学習活動を意図的に設定する。
- 問題を解決するために、線分図やテープ図などを活用する学習を系統的に指導し、筋道を立てて考える力を伸ばしていくことが大切である。

